

第3部 検査

通則

- 1 検査の費用は、第1節又は第3節の各区分の所定点数により算定する。ただし、検査に当たって患者から検体を穿刺し又は採取した場合は、第1節又は第3節の各区分の所定点数及び第4節の各区分の所定点数を合算した点数により算定する。
- 2 検査に当たって患者に対し薬剤を施用した場合は、特に規定する場合を除き、前号により算定した点数及び第5節の所定点数を合算した点数により算定する。
- 3 検査に当たって、別に厚生労働大臣が定める保険医療材料（以下この部において「特定保険医療材料」という。）を使用した場合は、前2号により算定した点数及び第6節の所定点数を合算した点数により算定する。
- 4 第1節又は第3節に掲げられていない検査であって特殊な検査の検査料は、第1節又は第3節に掲げられている検査のうちで最も近似する検査の各区分の所定点数により算定する。
- 5 対称器官に係る検査の各区分の所定点数は、特に規定する場合を除き、両側の器官の検査料に係る点数とする。
- 6 保険医療機関が、患者の人体から排出され、又は採取された検体について、当該保険医療機関以外の施設に臨床検査技師等に関する法律（昭和33年法律第76号）第2条に規定する検査を委託する場合における検査に要する費用については、別に厚生労働大臣が定めるところにより算定する。

第1節 検体検査料

通則

検体検査の費用は、第1款及び第2款の各区分の所定点数を合算した点数により算定する。

第1款 検体検査実施料

通則

- 1 入院中の患者以外の患者について、緊急のために、保険医療機関が表示する診療時間以外の時間、休日又は深夜において、当該保険医療機関内において検体検査を行った場合は、第1款の各区分の所定点数に1日につき110点を加算する。ただし、この場合において、同一日に第3号の加算は別に算定できない。
- 2 特定機能病院である保険医療機関においては、入院中の患者に係る検体検査実施料は、基本的検体検査実施料に掲げる所定点数及び当該所定点数に含まれない各項目の所定点数により算定する。
- 3 入院中の患者以外の患者に対して実施した検体検査であって、別に厚生労働大臣が定めるものの結果について、検査実施日のうちに説明した上で文書により情報を提供し、当該検査の結果に基づく診療が行われた場合に、5項目を限度として、第1節第1款の各区分に掲げる検体検査実施料の各項目の所定点数にそれぞれ10点を加算する。

区分

(尿・糞便等検査)

| | | |
|------|---|-----|
| D000 | 尿中一般物質定性半定量検査 | 26点 |
| | 注 当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。 | |
| D001 | 尿中特殊物質定性定量検査 | |
| 1 | 尿蛋白 | 7点 |
| 2 | VMA定性、B-J蛋白定性、尿グルコース | 9点 |
| 3 | ポルフィリン定性、アマラーゼ（定性、半定量） | 10点 |
| 4 | ビリルビン | 12点 |
| 5 | ウロビリル、尿中ウロビリノゲン、先天性代謝異常症の尿スクリーニングテスト、尿浸透圧 | 16点 |
| 6 | 尿中ポルフィリン症スクリーニングテスト | 17点 |
| 7 | 尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ（NAG） | 41点 |
| 8 | 尿中アルブミン定性 | 49点 |
| 9 | 尿中黄体形成ホルモン（LH）定性、尿中フィブリン分解産物（FDP） | 72点 |

- 10 尿中マイクロトランスフェリン、尿中ウロポルフィリン、尿中マイクロアルブミン、尿中デルタアミノレブリン酸、尿中ポリアミン 115点
- 11 尿中ミオイノシトール 120点
- 12 尿中コプロポルフィリン 150点
- 13 尿中ポルフォビリノゲン 200点
- 14 尿中IV型コラーゲン 210点
- 15 尿の蛋白免疫学的検査 区分番号D015に掲げる血漿蛋白免疫学的検査の例により算定した点数
- 16 その他 検査の種類別により区分番号D007に掲げる血液化学検査又は区分番号D008に掲げる内分泌学的検査、区分番号D009に掲げる腫瘍マーカー若しくは区分番号D010に掲げる特殊分析の例により算定した点数

注 区分番号D007に掲げる血液化学検査又は区分番号D008に掲げる内分泌学的検査、区分番号D009に掲げる腫瘍マーカー若しくは区分番号D010に掲げる特殊分析の所定点数を準用した場合は、当該区分の注についても同様に準用するものとする。

D002 尿沈渣顕微鏡検査 25点

注1 同一検体について当該検査と区分番号D017に掲げる排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。

2 当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。

3 染色標本による検査を行った場合は、9点を加算する。

D002-2 フローサイトメトリー法による尿中有形成分測定 30点

注1 同一検体について当該検査と区分番号D017に掲げる排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。

2 当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。

D003 糞便検査

- 1 潜血反応検査 9点
- 2 糞便中虫卵検出(集卵法)、糞便中ウロビリルン、糞便中ウロビリノゲン 15点
- 3 糞便塗抹顕微鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む。) 20点
- 4 糞便中虫体検出 23点
- 5 糞便中脂質 25点
- 6 糞便中ヘモグロビン定性 37点
- 7 糞便中虫卵培養検査 40点
- 8 糞便中ヘモグロビン 42点
- 9 糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン 57点
- 10 糞便中キモトリプシン 80点

D004 穿刺液・採取液検査

- 1 胃酸度測定 15点
- 2 ヒューナー検査 20点
- 3 胃液又は十二指腸液一般検査 55点
- 4 髄液一般検査 62点
- 5 精液一般検査 70点
- 6 頸管粘液検査 75点
- 7 子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ定性、涙液中総IGE定性 100点
- 8 子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ 135点
- 9 膈分泌液中乳酸脱水素酵素(LD)半定量 170点
- 10 マイクロバブルテスト 200点

| | | |
|----|----------------------------|--|
| 11 | 関節液中コンドロカルシン | 300点 |
| 12 | 羊水中肺サーファクタントアポ蛋白 (S P - A) | 380点 |
| 13 | I g G インデックス | 460点 |
| 14 | 髄液オリゴクロナルバンド | 560点 |
| 15 | 髄液M B P | 620点 |
| 16 | 髄液蛋白免疫学的検査 | 区分番号D 0 1 5 に掲げる血漿蛋白免疫学的検査の例により算定した点数 |
| 17 | 髄液塗抹染色標本検査 | 区分番号D 0 1 7 に掲げる排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査の例により算定した点数 |
| 18 | その他 | 検査の種類別により区分番号D 0 0 7 に掲げる血液化学検査又は区分番号D 0 0 8 に掲げる内分泌学的検査、区分番号D 0 0 9 に掲げる腫瘍マーカー若しくは区分番号D 0 1 0 に掲げる特殊分析の例により算定した点数 |

注 区分番号D 0 0 7 に掲げる血液化学検査又は区分番号D 0 0 8 に掲げる内分泌学的検査、区分番号D 0 0 9 に掲げる腫瘍マーカー若しくは区分番号D 0 1 0 に掲げる特殊分析の所定点数を準用した場合は、当該区分の注についても同様に準用するものとする。

| | | |
|-------------|--|--------|
| D 0 0 4 - 2 | 悪性腫瘍組織検査 | |
| 1 | 悪性腫瘍遺伝子検査 | 2,000点 |
| 2 | 抗悪性腫瘍剤感受性検査 (H D R A 法又はC D - D S T 法) | 2,000点 |
| | (血液学的検査) | |

| | | |
|---------|---|--------|
| D 0 0 5 | 血液形態・機能検査 | |
| 1 | 赤血球沈降速度 | 9点 |
| | 注 当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。 | |
| 2 | 網赤血球数 | 12点 |
| 3 | 血液浸透圧、鼻汁喀痰中好酸球検査 | 15点 |
| 4 | 好酸球数 | 17点 |
| 5 | 末梢血液像 | 18点 |
| | 注 特殊染色を併せて行った場合は、特殊染色ごとにそれぞれ27点を加算する。 | |
| 6 | 末梢血液一般検査 | 21点 |
| 7 | 血中微生物検査 | 40点 |
| 8 | 赤血球抵抗試験 | 45点 |
| 9 | 自己溶血試験、血液粘稠度、ヘモグロビンA _{1c} (HbA _{1c}) | 50点 |
| 10 | ヘモグロビンF (HbF) | 60点 |
| 11 | 動的赤血球膜物性検査 | 130点 |
| 12 | デオキシチミジンキナーゼ (T K) 活性 | 240点 |
| 13 | ターミナルデオキシヌクレオチジルトランスフェラーゼ (T d T) | 250点 |
| 14 | 骨髓像 | 880点 |
| | 注 特殊染色を併せて行った場合は、特殊染色ごとにそれぞれ40点を加算する。 | |
| 15 | モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査 (一連につき) | 1,000点 |

| | | |
|---------|-----------------------------|-----|
| D 0 0 6 | 出血・凝固検査 | |
| 1 | 出血時間 | 15点 |
| 2 | プロトロンビン時間、凝固時間、トロンボテスト | 18点 |
| 3 | 血餅収縮能、毛細血管抵抗試験 | 19点 |
| 4 | フィブリノゲン、クリオフィブリノゲン検査 | 23点 |
| 5 | トロンビン時間 | 25点 |
| 6 | 蛇毒試験、トロンボエラストグラフ、ヘパリン抵抗試験 | 28点 |
| 7 | 活性化部分トロンボプラスチン時間、ヘパプラスチンテスト | 29点 |
| 8 | 血小板凝集能 | 50点 |

| | | |
|--------|--|--------|
| 9 | 血小板粘着能 | 65点 |
| 10 | アンチトロンビンⅢ | 70点 |
| 11 | フィブリン分解産物 (FDP)、プラスミン、全血凝固溶解時間測定 (Ratnoff法等)、血清全プラスミン測定法 (血清SK活性化プラスミン値)、プラスミン活性値、 α_1 -アンチトリプシン | 80点 |
| 12 | フィブリンモノマー複合体定性 | 95点 |
| 13 | プラスミノゲン、凝固因子インヒビター定性 (クロスミキシング試験) | 100点 |
| 14 | フィブリノゲン分解産物 | 120点 |
| 15 | D-Dダイマー定性、 α_2 -マクログロブリン、アンチプラスミン、フォン・ウィルブランド因子活性 | 140点 |
| 16 | PIVKAⅡ、D-Dダイマー | 150点 |
| 17 | 凝固因子インヒビター、フォン・ウィルブランド因子抗原 | 160点 |
| 18 | プロテインS、 α_2 -プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 | 170点 |
| 19 | 血小板第4因子 (PF ₄)、 β -トロンボグロブリン | 180点 |
| 20 | トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)、プロトロンビンフラグメントF1+2 | 200点 |
| 21 | トロンボモジュリン | 215点 |
| 22 | フィブリンモノマー複合体、凝固因子 (Ⅱ、V、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、X、XI、XII、XIII) | 240点 |
| 23 | プロテインC、tPA・PAI-1複合体 | 260点 |
| 24 | フィブリノペプチド | 300点 |
| 注 | 患者から1回に採取した血液を用いて本区分の14から24までに掲げる検査を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 | |
| イ | 3項目又は4項目 | 530点 |
| ロ | 5項目以上 | 750点 |
| D006-2 | 血液細胞核酸増幅同定検査 (造血器腫瘍核酸増幅同定検査) ^{しゅよう} | 2,000点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に算定する。 | |
| D006-3 | Major bcr-abl mRNA核酸増幅検査 | 1,200点 |
| D006-4 | 遺伝学的検査 | 4,000点 |
| D006-5 | 染色体検査 (すべての費用を含む。) | 2,600点 |
| 注 | 分染法を行った場合は、400点を加算する。 | |
| D006-6 | 免疫関連遺伝子再構成 | 2,400点 |
| D006-7 | WT1 mRNA核酸増幅検査、サイトケラチン (CK) 19mRNA、UDPグルクロン酸転移酵素遺伝子多型 (生化学的検査(I)) | 2,000点 |
| D007 | 血液化学検査 | |
| 1 | 総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白 ^{たん} 、アルブミン、尿素窒素 (BUN)、クレアチニン、尿酸、アルカリホスファターゼ、コリンエステラーゼ (ChE)、 γ -グルタミールトランスペプチダーゼ (γ -GT)、中性脂肪、ナトリウム及びクロール、カリウム、カルシウム、マグネシウム ^こ 、膠質反応、クレアチン、グルコース、乳酸脱水素酵素 (LD)、酸ホスファターゼ、エステル型コレステロール、アミラーゼ、ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)、クレアチン・ホスホキナーゼ (CK)、アルドラーゼ、遊離コレステロール、鉄、試験紙法・アンプル法・固定化酵素電極による血中ケトン体・糖・クロール検査 | 11点 |
| 2 | リン脂質 | 15点 |
| 3 | 遊離脂肪酸 | 16点 |
| 4 | HDL-コレステロール、前立腺 ^{せん} 酸ホスファターゼ、P及びHPO ₄ 、総コレス | |

| | |
|--|------|
| テロール、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT) | 17点 |
| 5 LDL-コレステロール、 ^{たん} 蛋白分画 | 18点 |
| 6 銅 | 23点 |
| 7 リパーゼ | 24点 |
| 8 イオン化カルシウム | 26点 |
| 9 マンガン | 27点 |
| 10 ムコ ^{たん} 蛋白 | 29点 |
| 11 ケトン体、不飽和鉄結合能(UIBC)、総鉄結合能(TIBC) | 31点 |
| 12 アデノシンデアミナーゼ | 32点 |
| 13 グアナーゼ | 35点 |
| 14 リポプロテイン | 45点 |
| 15 有機モノカルボン酸、胆汁酸、アルカリホスファターゼ・アイソザイム、アミラーゼ・アイソザイム、 γ -GT・アイソザイム、乳酸脱水素酵素・アイソザイム、重炭酸塩 | 48点 |
| 16 AST・アイソザイム | 49点 |
| 17 アンモニア、リポ ^{たん} 蛋白分画(アガロース法) | 50点 |
| 18 CK・アイソザイム、グリコアルブミン | 55点 |
| 19 コレステロール分画 | 57点 |
| 20 カタラーゼ、ケトン体分画 | 60点 |
| 21 レシチン・コレステロール・アシルトランスフェラーゼ(L-CAT) | 70点 |
| 22 G-6-PDH、リポ ^{たん} 蛋白分画(ポリアクリルアミドディスク電気泳動法)、1, 5-アンヒドロ-D-グルシトール(1, 5AG)、グリココール酸 | 80点 |
| 23 CK-MB | 90点 |
| 24 ^{すい} 膵分泌性トリプシンインヒビター(PSTI)、乳酸脱水素酵素・アイソザイム 1型、アポリ ^{たん} 蛋白 | 95点 |
| 25 シスチンアミノペプチダーゼ(CAP) | 100点 |
| 26 ヘパリン、リポ ^{たん} 蛋白(a) | 110点 |
| 27 心筋トロポニンI、シアル化糖鎖抗原KL-6、フェリチン、アルコール、ペントシジン、イヌリン | 120点 |
| 28 サーフアクタントプロテインA(SPA)、心筋トロポニンT(定性、定量)、ガラクトース、アルミニウム、シスタチンC | 130点 |
| 29 サーフアクタントプロテインD(SPD) | 140点 |
| 30 血液ガス分析、亜鉛、ミオグロビン、ヒト心臓由来脂肪酸結合 ^{たん} 蛋白(H-FABP)、P-III-P、IV型コラーゲン、アルブミン非結合型ビリルビン、ピルビン酸キナーゼ(PK) | 150点 |
| 注 血液ガス分析については、当該保険医療機関内で行った場合に算定する。 | |
| 31 アンギオテンシンI転換酵素(ACE)、IV型コラーゲン・7S、ビタミンB ₁₂ | 160点 |
| 32 葉酸 | 170点 |
| 33 アルカリホスファターゼ・アイソザイム(ポリアクリルアミドディスク電気泳動法) | 180点 |
| 34 アセトアミノフェン、 ^{ちっ} 脛分泌液中インスリン様成長因子結合 ^{たん} 蛋白1型(IGFBP-1)、ヒアルロン酸、心室筋ミオシン軽鎖I | 190点 |
| 35 レムナント様リポ ^{たん} 蛋白(RLP)コレステロール、トリプシン、MDA-LDL | 200点 |
| 36 赤血球コプロポルフィリン、 ^{すい} 膵ホスホリパーゼA ₂ (^{すい} 膵PLA ₂) | 210点 |
| 37 リポ ^{たん} 蛋白リパーゼ、肝細胞増殖因子(HGF)、CKアイソフォーム、プロリルヒドロキシラーゼ(PH) | 230点 |

| | | |
|----|--|------|
| 38 | 2, 5-オリゴアデニル酸合成酵素活性、 ^{ちつ} 腔分泌液中 α -フェトプロテイン | 250点 |
| 39 | ビタミンB ₁ | 270点 |
| 40 | 赤血球プロトポルフィリン、ビタミンB ₂ | 280点 |
| 41 | プロカルシトニン (PCT) | 320点 |
| 42 | ビタミンC | 330点 |
| 43 | 1, 25ジヒドロキシビタミンD ₃ (1, 25 (OH) ₂ D ₃) | 400点 |
| 注 | 患者から1回に採取した血液を用いて本区分の1から9までに掲げる検査を5項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 | |
| イ | 5項目以上7項目以下 | 95点 |
| ロ | 8項目又は9項目 | 104点 |
| ハ | 10項目以上 | 123点 |
| | 注 入院中の患者について算定した場合は、初回に限り20点を加算する。 | |

(生化学的検査Ⅱ)

D008 内分泌学的検査

| | | |
|----|--|------|
| 1 | ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 定性 | 55点 |
| 2 | 11-ヒドロキシコルチコステロイド (11-OHCS)、17-ヒドロキシコルチコステロイド (17-OHCS) | 60点 |
| 3 | 17-ケトステロイド (17-KS)、ホモバニール酸 (HVA) | 70点 |
| 4 | バニールマンデル酸 (VMA) | 90点 |
| 5 | 5-ヒドロキシインドール酢酸 (5-HIAA) | 95点 |
| 6 | プロラクチン (PRL) | 100点 |
| 7 | レニン活性 | 110点 |
| 8 | トリヨードサイロニン (T ₃)、甲状腺 ^{せん} 刺激ホルモン (TSH)、ガストリン、レニン定量 | 115点 |
| 9 | サイロキシシン (T ₄)、インスリン (IRI) | 120点 |
| 10 | 成長ホルモン (GH)、卵胞刺激ホルモン (FSH)、C-ペプチド (CPR)、黄体形成ホルモン (LH) | 125点 |
| 11 | ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)、サイロキシシン結合能 (TBC)、遊離サイロキシシン (FT ₄)、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ (GAD) 抗体価、遊離トリヨードサイロニン (FT ₃)、コルチゾール、アルドステロン、サイロキシシン結合 ^{たん} 蛋白 (TBG)、テストステロン、サイログロブリン、ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端 ^{じゆう} フラグメント (NT-proBNP) | 140点 |
| 12 | ヒト胎盤性ラクトゲン (HPL)、ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG)、ヒト絨毛性ゴナドトロピン β (HCG β) 分画、グルカゴン、カルシトニン | 150点 |
| 13 | I型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx)、酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ (TRACP-5b) | 160点 |
| 14 | オステオカルシン、骨型アルカリホスファターゼ (BAP)、尿中 β クロスラプス、セクレチン、プロジェステロン、低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG)、遊離テストステロン、 β クロスラプス (尿を除く。)、低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC) | 170点 |
| 15 | サイクリックAMP (C-AMP)、エストリオール (E ₃)、エストロジェン、副甲状腺 ^{せん} ホルモン関連 ^{たん} 蛋白C端フラグメント (C-PTHrP) | 180点 |
| 16 | 副甲状腺 ^{せん} ホルモン (PTH)、カテコールアミン分画、DHEA-S | 190点 |
| 17 | 尿中デオキシピリジノリン、副甲状腺 ^{せん} ホルモン関連 ^{たん} 蛋白 (PTHrP)、17-ケトジェニックステロイド (17-KGS)、エストラジオール (E ₂) | 200点 |
| 18 | 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)、17-ケトジェニックステロイド分画 (17-KGS分画)、カテコールアミン、17-ケトステロイド分画 (17-KS分画)、エリ | |

| | | |
|------|---|------|
| | スロポエチン、17 α -ヒドロキシプロジェステロン、抗IA-2抗体、プレグナンジオール | 220点 |
| 19 | メタネフリン、ソマトメジンC、ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、アルギニンバソプレッシン | 240点 |
| 20 | プレグナントリオール、ノルメタネフリン | 250点 |
| 21 | インスリン様成長因子結合タンパク3型(IGFBP-3) | 280点 |
| 注 | 患者から1回に採取した血液を用いて本区分の10から21までに掲げる検査を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 | |
| | イ 3項目以上5項目以下 | 410点 |
| | ロ 6項目又は7項目 | 630点 |
| | ハ 8項目以上 | 900点 |
| D009 | 腫瘍 ^{しゅよう} マーカー | |
| 1 | 尿中BTA | 80点 |
| 2 | 癌 ^{がん} 胎児性抗原(CEA)、 α -フェトプロテイン(AFP)、組織ポリペプチド抗原(TPA)、扁平上皮癌 ^{がん} 関連抗原(SCC抗原) | 115点 |
| 3 | DUPAN-2、NCC-ST-439、CA15-3、前立腺 ^{せん} 酸ホスファターゼ抗原 | 130点 |
| 4 | エラスターゼ1 | 135点 |
| 5 | PSA、CA19-9 | 140点 |
| 6 | 塩基性フェトプロテイン(BFP)、CA72-4、CA-50、SPan-1抗原、シアリルTn抗原、神経特異エノラーゼ(NSE)、PIVKAII | 150点 |
| 7 | 尿中NMP22、シアリルLe ^x -i(SLX)抗原、CA125、尿中サイトケラチン | |
| 8 | 8・サイトケラチン18総量 | 160点 |
| 8 | シアリルLe ^x (CSLEX)抗原、フリーPSA/トータルPSA比、BCA225、I型プロコラーゲン-C-プロペプチド、I型コラーゲンCテロペプチド、SP | |
| 1 | 1、血清中抗p53抗体 | 170点 |
| 9 | サイトケラチン19フラグメント、ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP) | 180点 |
| 10 | 尿中遊離型フコース、CA602、AFPのレクチン反応性による分画比(AFP-L ₃ %)、CA54/61、癌 ^{がん} 関連ガラクトース転移酵素(GAT) | 190点 |
| 11 | γ -セミノプロテイン、CA130、尿中ヒト ^{しゅよう} 絨毛性ゴナドトロピン β 分画コア(HCG β -CF) | 200点 |
| 12 | 腭癌 ^{すいがん} 胎児性抗原(POA) | 220点 |
| 13 | 乳頭分泌液中CEA、乳頭分泌液中HER2タンパク、血清中HER2タンパク | 320点 |
| 14 | インターロイキン2受容体(IL-2R) | 460点 |
| 注1 | 診療 ^{しゆりょう} 及び腫瘍 ^{しゅよう} マーカー以外の検査の結果から悪性腫瘍 ^{しゅよう} の患者であることが強く疑われる者に対して、腫瘍 ^{しゅよう} マーカーの検査を行った場合に、1回に限り算定する。ただし、区分番号B001の3に掲げる悪性腫瘍 ^{しゅよう} 特異物質治療管理料を算定している患者については算定しない。 | |
| 2 | 患者から1回に採取した血液等を用いて本区分の2から14までに掲げる検査を2項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 | |
| | イ 2項目 | 230点 |
| | ロ 3項目 | 290点 |
| | ハ 4項目以上 | 420点 |
| D010 | 特殊分析 | |
| 1 | 尿中糖分析 | 38点 |

| | | |
|---|------------------|--------|
| 2 | 結石分析 | 120点 |
| 3 | チロシン | 200点 |
| 4 | 総分岐鎖アミノ酸／チロシンモル比 | 300点 |
| 5 | アミノ酸 | |
| イ | 1種類につき | 320点 |
| ロ | 5種類以上 | 1,300点 |
| 6 | アミノ酸分析（定性） | 350点 |
| 7 | 脂肪酸分画 | 450点 |
| 8 | 先天性代謝異常症検査 | 1,200点 |

注 当該保険医療機関内において、当該検査を行った場合に患者1人につき月1回に限り算定する。

（免疫学的検査）

D 0 1 1 免疫血液学的検査

| | | |
|---|-------------------|------|
| 1 | A B O血液型、Rh(D)血液型 | 21点 |
| 2 | クームス試験 | |
| イ | 直接 | 30点 |
| ロ | 間接 | 34点 |
| 3 | Rh（その他の因子）血液型 | 160点 |
| 4 | 赤血球不規則抗体検査 | 170点 |

注 第10部手術第7款の各区分に掲げる胸部手術、同部第8款の各区分に掲げる心・脈管手術、同部第9款の各区分に掲げる腹部手術又は同部第11款の各区分に掲げる性器手術のうち区分番号K 8 9 8に掲げる帝王切開術等を行った場合に算定する。

| | | |
|---|--|------|
| 5 | α -D-Nアセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ活性及び α -D-ガラクトシルトランスフェラーゼ活性 | 200点 |
| 6 | P A I g G（血小板関連 I g G） | 210点 |
| 7 | A B O血液型亜型 | 260点 |
| 8 | 抗血小板抗体検査 | 270点 |

D 0 1 2 感染症免疫学的検査

| | | |
|----|--|-----|
| 1 | 梅毒脂質抗原使用検査（定性）、抗ストレプトリジンO価（A S O価） | 15点 |
| 2 | トキソプラズマ抗体価（半定量） | 27点 |
| 3 | 抗ストレプトキナーゼ価（A S K価） | 29点 |
| 4 | T P H A試験（定性）、マイコプラズマ抗体価 | 32点 |
| 5 | 抗連鎖球菌多糖体抗体（A S P）、梅毒脂質抗原使用検査 | 34点 |
| 6 | T P H A試験 | 53点 |
| 7 | アデノウイルス抗原（定性）、迅速ウレアーゼ試験 | 60点 |
| 8 | ロタウイルス抗原 | 65点 |
| 9 | ヘリコバクター・ピロリ抗体（定性、半定量）、クラミジア・ニューモニエ I g G抗体価 | 70点 |
| 10 | クラミジア・ニューモニエ I g A抗体価 | 75点 |
| 11 | クロストリジウム・ディフィシル抗原、ウイルス抗体価（半定量）（1項目当たり）、ヘリコバクター・ピロリ抗体、百日咳菌 ^{せき} 抗体価（半定量） | 80点 |

注 同一検体についてウイルス抗体価の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。

| | | |
|----|--|------|
| 12 | H T L V - I抗体価（半定量） | 85点 |
| 13 | トキソプラズマ抗体価、トキソプラズマ I g M抗体価 | 95点 |
| 14 | 抗デオキシリボヌクレアーゼ B 価（A D N a s e B）、抗溶連菌エステラーゼ抗体（A S E） | 100点 |
| 15 | 抗抗酸菌抗体価、H I V - 1抗体価 | 120点 |

| | | |
|---------|---|------|
| 16 | H I V - 1, 2抗体価 | 130点 |
| 17 | A群β溶連菌迅速試験、ノイラミニダーゼ | 140点 |
| 18 | 髄液又は尿中肺炎球菌抗原、髄液又は尿中ヘモフィルスインフルエンザb型抗原、インフルエンザウイルス抗原、カンジダ抗原、糞便中ヘリコバクター・ピロリ抗原、RSウイルス抗原、FTA-ABS試験 | 150点 |
| 19 | D-アラビニトール、抗クラミジア・ニューモニエIgM抗体価 | 160点 |
| 20 | 大腸菌O157LP S抗原、クラミジアトラコマチス抗原、アスペルギルス抗原、マイコプラズマ抗原（咽頭内） | 170点 |
| 21 | 淋菌抗原同定検査、大腸菌O157LP S抗体、単純ヘルペスウイルス特異抗原、大腸菌抗原同定検査 | 180点 |
| 22 | クリプトコックス・ネオフォルマンズ抗原、HTLV-I抗体価 | 190点 |
| 23 | ブルセラ凝集反応、アデノウイルス抗原、尿中肺炎球菌 荚膜抗原、抗アニサキスIgG・A抗体価、レプトスピラ抗体価 | 210点 |
| 24 | ツツガムシ抗体価、グロブリンクラス別クラミジアトラコマチス抗体価、(1→3)-β-D-グルカン、サイトメガロウイルス抗体価 | 220点 |
| 25 | 赤痢アメーバ抗体価、グロブリンクラス別ウイルス抗体価 | 230点 |
| | 注 同一検体について、グロブリンクラス別ウイルス抗体価精密測定を行った場合は、2項目を限度として算定する。 | |
| 26 | 尿中レジオネラ抗原、上皮細胞中水痘ウイルス抗原 | 240点 |
| 27 | エンドトキシン検査、抗ボレリア・ブルグドルフェリ抗体価 | 270点 |
| 28 | H I V - 1抗体価（ウエスタンブロット法） | 280点 |
| 29 | 百日咳菌抗体価、結核菌群抗原、ダニ特異IgG抗体価、ワイルフェリックス反応 | 300点 |
| 30 | H I V - 2抗体価（ウエスタンブロット法） | 380点 |
| 31 | 白血球中サイトメガロウイルスpp65抗原 | 410点 |
| 32 | HTLV-I抗体価（ウエスタンブロット法） | 450点 |
| 33 | H I V抗原 | 600点 |
| D 0 1 3 | 肝炎ウイルス関連検査 | |
| 1 | HBs抗原（定性、半定量） | 29点 |
| 2 | HBs抗体価（半定量） | 32点 |
| 3 | HBs抗原、HBs抗体価 | 90点 |
| 4 | HBe抗原、HBe抗体価 | 110点 |
| 5 | HCV抗体価（定性、定量）、HCVコア蛋白質 | 120点 |
| 6 | HBc抗体価、IgM-HA抗体価、HA抗体価、IgM-HBc抗体価、HCVコア抗体価 | 150点 |
| 7 | HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体価 | 160点 |
| 8 | HCV特異抗体価測定による群別判定 | 240点 |
| 9 | B型肝炎ウイルスコア関連抗原（HBcrAg） | 290点 |
| 10 | デルタ肝炎ウイルス抗体価 | 330点 |
| 11 | HCV特異抗体価 | 340点 |
| | 注 患者から1回に採取した血液を用いて本区分の3から11までに掲げる検査を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 | |
| イ | 3項目 | 290点 |
| ロ | 4項目 | 360点 |
| ハ | 5項目以上 | 494点 |
| D 0 1 4 | 自己抗体検査 | |
| 1 | 寒冷凝集反応 | 11点 |
| 2 | リウマトイド因子 | 30点 |

| | | |
|----|---|--------|
| 3 | サイロイドテスト、マイクロゾームテスト | 37点 |
| 4 | Donath-Landsteiner試験（寒冷溶血反応） | 55点 |
| 5 | LEテスト | 68点 |
| 6 | 抗核抗体価（蛍光抗体法を除く。）、インスリン抗体 | 110点 |
| 7 | 抗核抗体価（蛍光抗体法） | 115点 |
| 8 | 抗ガラクトース欠損IgG抗体価、マトリックスメタロプロテインナーゼ-3（MP-3） | 120点 |
| 9 | 抗J _o -1抗体、抗サイログロブリン抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体、抗RNP抗体 | 150点 |
| 10 | 抗Sm抗体、抗SS-A/Ro抗体、抗SS-B/La抗体、抗Scl-70抗体、C ₁ q結合免疫複合体 | 170点 |
| 11 | 抗DNA抗体価 | 180点 |
| 12 | 抗セントロメア抗体 | 190点 |
| 13 | モノクローナルRF結合免疫複合体 | 200点 |
| 14 | C ₃ d結合免疫複合体、IgG型リウマチ因子、抗シトルリン化ペプチド抗体、抗ミトコンドリア抗体 | 210点 |
| 15 | 抗カルジオリピンβ ₂ グリコプロテインI（抗CLβ ₂ GPI）複合体抗体、抗LKM-1抗体 | 230点 |
| 16 | 抗カルジオリピン抗体、TSHレセプター抗体 | 250点 |
| 17 | 血清中抗デスマogleイン3抗体、血清中抗BP180NC16a抗体 | 270点 |
| 18 | ループスアンチコアグラント、細胞質性抗好中球細胞質抗体価、抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）、抗糸球体基底膜抗体 | 290点 |
| 19 | 血清中抗デスマogleイン1抗体 | 300点 |
| 20 | TSH刺激性レセプター抗体（TSA _b ） | 350点 |
| 21 | IgG4 | 400点 |
| 22 | 抗GM1IgG抗体、抗GQ1bIgG抗体 | 460点 |
| 23 | 抗アセチルコリンレセプター抗体価 | 900点 |
| 24 | グルタミン受容体自己抗体 | 1,000点 |
| 注 | 本区分の9及び10に掲げる検査を2項目又は3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ320点又は490点を算定する。 | |

D015 血漿蛋白質免疫学的検査

| | | |
|----|--|------|
| 1 | C反応性たんぱく（CRP）定性、C反応性たんぱく（CRP） | 16点 |
| 2 | 赤血球コプロポルフィリン定性、G-6-Pase | 30点 |
| 3 | G-6-PDH定性、赤血球プロトポルフィリン定性 | 34点 |
| 4 | 血清補体価（CH ₅₀ ）、免疫グロブリン | 38点 |
| 5 | クリオグロブリン | 42点 |
| 6 | 血清アミロイドA（SAA）たんぱく | 48点 |
| 7 | トランスフェリン | 60点 |
| 8 | 補体たんぱく（C ₃ ）、補体たんぱく（C ₄ ） | 70点 |
| 9 | セルロプラスミン | 90点 |
| 10 | 非特異的IgE | 100点 |
| 11 | 特異的IgE | 110点 |
| 注 | 特異的IgE検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定する。 | |
| 12 | β ₂ -マイクログロブリン（β ₂ -m）、プレアルブミン | 115点 |
| 13 | レチノール結合たんぱく（RBP） | 140点 |
| 14 | α ₁ -マイクログロブリン、ハプトグロビン（型補正を含む。） | 150点 |
| 15 | C ₃ プロアクチベータ | 160点 |

| | | |
|--------|--|------|
| 16 | アレルギー刺激性遊離ヒスタミン (HRT) | 170点 |
| 17 | ヘモペキシン | 180点 |
| 18 | 血中APRスコア、アトピー鑑別試験、ヒトTARC | 200点 |
| 19 | 頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン | 210点 |
| 20 | 尿蛋白免疫電気泳動 | 220点 |
| 21 | 免疫電気泳動法 (同一検体に対して一連につき) | 240点 |
| 22 | C ₁ インアクチベータ | 290点 |
| 23 | 免疫グロブリンL鎖κ/λ比 | 340点 |
| 24 | 結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン-γ | 600点 |
| D016 | 細胞機能検査 | |
| 1 | 表面免疫グロブリン (一連につき) | 170点 |
| 2 | 顆粒球機能検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 200点 |
| 3 | フローサイトメトリー法によるT細胞・B細胞百分率検査、モノクローナル抗体法によるT細胞サブセット検査 (一連につき) | 210点 |
| 4 | 顆粒球スクリーニング検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 220点 |
| 5 | フローサイトメトリーのTwo-color分析法による赤血球検査 | 270点 |
| 6 | リンパ球幼若化検査 (一連につき) | 350点 |
| | (微生物学的検査) | |
| D017 | 排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 | |
| 1 | 蛍光顕微鏡、位相差顕微鏡、暗視野装置等を使用するもの | 42点 |
| | 注 集菌塗抹法を行った場合には、集菌塗抹法加算として、所定点数に32点を加算する。 | |
| 2 | 保温装置使用アメーバ検査 | 45点 |
| 3 | その他のもの | 40点 |
| D018 | 細菌培養同定検査 | |
| 1 | 口腔、気道又は呼吸器からの検体 | 140点 |
| 2 | 消化管からの検体 | 140点 |
| 3 | 血液又は穿刺液 | 150点 |
| 4 | 泌尿器又は生殖器からの検体 | 130点 |
| 5 | その他の部位からの検体 | 120点 |
| 6 | 簡易培養検査 | 60点 |
| | 注 1から6までについては、同一検体について一般培養と併せて嫌気性培養を行った場合は、80点を加算する。 | |
| D019 | 細菌薬剤感受性検査 | |
| 1 | 1菌種 | 140点 |
| 2 | 2菌種 | 180点 |
| 3 | 3菌種以上 | 230点 |
| D019-2 | 酵母様真菌薬剤感受性検査 | 130点 |
| D020 | 抗酸菌分離培養検査 | |
| 1 | 抗酸菌分離培養検査1 | 200点 |
| 2 | 抗酸菌分離培養検査2 | 180点 |
| D021 | 抗酸菌同定検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 290点 |
| D022 | 抗酸菌薬剤感受性検査 (培地数に関係なく) | 300点 |
| | 注 4薬剤以上使用した場合に限り算定する。 | |
| D023 | 微生物核酸同定・定量検査 | |
| 1 | 白血球中細菌核酸同定検査 (1菌種当たり) | 130点 |
| 2 | 淋菌核酸同定検査、クラミジアトラコマチス核酸同定検査 | 210点 |
| 3 | HBV核酸定量検査 | 290点 |
| 4 | 淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸増幅同定検査 | 300点 |

| | | |
|--------|--|--------|
| 5 | DNAポリメラーゼ | 310点 |
| 6 | HCV核酸同定検査、HPV核酸同定検査 | 360点 |
| | 注 HPV核酸同定検査については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、細胞診によりベセスダ分類がASC-USと判定された患者に対して行った場合に限り算定する。 | |
| 7 | 抗酸菌群核酸同定検査、結核菌群核酸同定検査 | 410点 |
| 8 | マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸同定検査 | 430点 |
| 9 | HCV核酸定量検査、血清中のHBVプレコア変異及びコアプロモーター変異遺伝子同定検査、ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子同定検査、SARSコロナウイルス核酸増幅同定検査 | 450点 |
| 10 | HIV-I核酸定量検査 | 520点 |
| | 注 検体の超遠心による濃縮前処理を加えて行った場合は、130点を加算する。 | |
| 11 | 結核菌群リファンピシン耐性遺伝子同定検査 | 550点 |
| 12 | HIV-ジェノタイプ薬剤耐性検査 | 6,000点 |
| D023-2 | その他の微生物学的検査 | |
| 1 | 黄色ブドウ球菌ペニシリン結合蛋白2' (PBP2') | 55点 |
| 2 | 尿素呼気試験 | 70点 |
| 3 | 腸炎ビブリオ菌耐熱性溶血毒 (TDH) 検査 | 150点 |
| 4 | 大腸菌ベロトキシン検査 | 200点 |
| D024 | 動物使用検査 | 170点 |
| | 注 使用した動物の費用として動物の購入価格を10円で除して得た点数を加算する。 (基本的検体検査実施料) | |
| D025 | 基本的検体検査実施料 (1日につき) | |
| 1 | 入院の日から起算して4週間以内の期間 | 140点 |
| 2 | 入院の日から起算して4週間を超えた期間 | 110点 |
| 注1 | 特定機能病院である保険医療機関において、入院中の患者に対して行った検体検査について算定する。 | |
| 2 | 次に掲げる検体検査の費用は所定点数に含まれるものとする。 | |
| イ | 尿中一般物質定性半定量検査 | |
| ロ | 尿中特殊物質定性定量検査 | |
| ハ | 尿沈渣顕微鏡検査 | |
| ニ | 糞便検査 | |
| ホ | 穿刺液・採取液検査 | |
| ヘ | 血液形態・機能検査 | |
| ト | 出血・凝固検査 | |
| チ | 血液細胞核酸増幅同定検査 (造血器腫瘍核酸増幅同定検査) | |
| リ | 血液化学検査 | |
| ヌ | 免疫血液学的検査 | |
| | ABO血液型及びRh (D) 血液型 | |
| ル | 感染症免疫学的検査 | |
| | 梅毒脂質抗原使用検査 (定性)、抗ストレプトリジンO価 (ASO価)、トキソプラズマ抗体価 (半定量)、梅毒脂質抗原使用検査、TPHA試験、TPHA試験 (定性) 及びHIV-1抗体価 | |
| ヲ | 肝炎ウイルス関連検査 | |
| | HBs抗原 (定性、半定量)、HBs抗体価 (半定量)、HBs抗原、HBs抗体価、HCV抗体価 (定性、定量) 及びHCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体価 | |
| ワ | 自己抗体検査 | |

寒冷凝集反応及びリウマトイド因子
 カ 血漿蛋白免疫学的検査
 C反応性蛋白(CRP)定性、C反応性蛋白(CRP)、血清補体価(CH₅₀)
 及び免疫グロブリン

ヨ 微生物学的検査

3 療養病棟、結核病棟又は精神病棟に入院している患者及び第1章第2部第2節に規定するHIV感染者療養環境特別加算、二類感染症患者療養環境特別加算若しくは重症者等療養環境特別加算又は同部第3節に規定する特定入院料を算定している患者については適用しない。

第2款 検体検査判断料

区分

D026 検体検査判断料

| | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 尿・糞便等検査判断料 | 34点 |
| 2 | 血液学的検査判断料 | 125点 |
| 3 | 生化学的検査(I)判断料 | 144点 |
| 4 | 生化学的検査(II)判断料 | 144点 |
| 5 | 免疫学的検査判断料 | 144点 |
| 6 | 微生物学的検査判断料 | 150点 |

注1 検体検査判断料は該当する検体検査の種類又は回数にかかわらずそれぞれ月1回に限り算定できるものとする。ただし、区分番号D027に掲げる基本的検体検査判断料を算定する患者については、尿・糞便等検査判断料、血液学的検査判断料、生化学的検査(I)判断料、免疫学的検査判断料及び微生物学的検査判断料は別に算定しない。

2 注1の規定にかかわらず、区分番号D000に掲げる尿中一般物質定性半定量検査の所定点数を算定した場合にあっては、当該検査については尿・糞便等検査判断料は算定しない。

3 検体検査管理に関する別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において検体検査を行った場合には、当該基準に係る区分に従い、患者(検体検査管理加算(II)、検体検査管理加算(III)及び検体検査管理加算(IV)については入院中の患者に限る。)1人につき月1回に限り、次に掲げる点数を所定点数に加算する。ただし、いずれかの検体検査管理加算を算定した場合には、同一月において他の検体検査管理加算は、算定しない。

| | | |
|---|---------------|------|
| イ | 検体検査管理加算(I) | 40点 |
| ロ | 検体検査管理加算(II) | 100点 |
| ハ | 検体検査管理加算(III) | 300点 |
| ニ | 検体検査管理加算(IV) | 500点 |

4 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、区分番号D006-4に掲げる遺伝学的検査を実施し、その結果について患者又はその家族に対し遺伝カウンセリングを行った場合には、患者1人につき月1回に限り、所定点数に500点を加算する。

D027 基本的検体検査判断料

604点

注1 特定機能病院である保険医療機関において、尿・糞便等検査、血液学的検査、生化学的検査(I)、免疫学的検査又は微生物学的検査の各項に掲げる検体検査を入院中の患者に対して行った場合に、当該検体検査の種類又は回数にかかわらず月1回に限り算定できるものとする。

2 区分番号D026に掲げる検体検査判断料の注3本文に規定する施設基準に適合しているものとして届出を行った保険医療機関(特定機能病院に限る。)において、検体検査を行った場合には、当該基準に係る区分に従い、患者1人につき

月1回に限り、同注に掲げる点数を所定点数に加算する。ただし、同注に掲げる点数のうちいずれかの点数を算定した場合には、同一月において同注に掲げる他の点数は、算定しない。

第2節 削除

第3節 生体検査料

通則

1 新生児又は3歳未満の乳幼児（新生児を除く。）に対して本節に掲げる検査（次に掲げるものを除く。）を行った場合は、各区分に掲げる所定点数にそれぞれ所定点数の100分の60又は100分の30に相当する点数を加算する。

イ 呼吸機能検査等判断料

ロ 心臓カテーテル法による諸検査

ハ 心電図検査の注に掲げるもの

ニ 負荷心電図検査の注1に掲げるもの

ホ 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ

ヘ 経皮的血液ガス分圧測定、血液ガス連続測定

ト 深部体温計による深部体温測定

チ 前額部、胸部、手掌部、足底部体表面体温測定による末梢循環不全状態観察

リ 脳波検査の注2に掲げるもの

ヌ 脳波検査判断料

ル 神経・筋検査判断料

ヲ ラジオアイソトープ検査判断料

ワ 内視鏡検査の通則第3号に掲げるもの

カ 超音波内視鏡検査を実施した場合の加算

ヨ 肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、^{すい}膵臓カテーテル法

2 3歳以上6歳未満の幼児に対して区分番号D200からD242までに掲げる検査（次に掲げるものを除く。）を行った場合は、各区分に掲げる所定点数に所定点数の100分の15に相当する点数を加算する。

イ 呼吸機能検査等判断料

ロ 心臓カテーテル法による諸検査

ハ 心電図検査の注に掲げるもの

ニ 負荷心電図検査の注1に掲げるもの

ホ 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ

ヘ 経皮的血液ガス分圧測定、血液ガス連続測定

ト 深部体温計による深部体温測定

チ 前額部、胸部、手掌部、足底部体表面体温測定による末梢循環不全状態観察

リ 脳波検査の注2に掲げるもの

ヌ 脳波検査判断料

ル 神経・筋検査判断料

区分

（呼吸循環機能検査等）

通則

1 区分番号D200からD204までに掲げる呼吸機能検査等については、各所定点数及び区分番号D205に掲げる呼吸機能検査等判断料の所定点数を合算した点数により算定し、区分番号D206からD214-2までに掲げる呼吸循環機能検査等については、特に規定する場合を除き、同一の患者につき同一月において同一検査を2回以上実施した場合における2回目以降の当該検査の費用は、所定点数の100分の90に相当する点数により算定する。

2 使用したガスの費用として、購入価格を10円で除して得た点数を加算する。

| | | |
|---------|---|--------|
| D 2 0 0 | スパイログラフイー等検査 | |
| | 1 肺気量分画測定（安静換気量測定及び最大換気量測定を含む。） | 80点 |
| | 2 フローボリュームカーブ（強制呼出曲線を含む。） | 80点 |
| | 3 機能的残気量測定 | 130点 |
| | 4 呼気ガス分析 | 100点 |
| | 5 左右別肺機能検査 | 1,010点 |
| D 2 0 1 | 換気力学的検査 | |
| | 1 呼吸抵抗測定 | 70点 |
| | 2 コンプライアンス測定、気道抵抗測定、肺粘性抵抗測定、1回呼吸法による吸気分布検査 | 135点 |
| D 2 0 2 | 肺内ガス分布 | |
| | 1 指標ガス洗い出し検査 | 135点 |
| | 2 クロージングボリューム測定 | 135点 |
| D 2 0 3 | 肺胞機能検査 | |
| | 1 肺拡散能力検査 | 135点 |
| | 2 死腔量測定、肺内シャント検査 | 135点 |
| D 2 0 4 | 基礎代謝測定 | 85点 |
| D 2 0 5 | 呼吸機能検査等判断料 | 140点 |
| | 注 呼吸機能検査等の種類又は回数にかかわらず、月1回に限り算定するものとする。 | |
| D 2 0 6 | 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について） | |
| | 1 右心カテーテル | 3,600点 |
| | 2 左心カテーテル | 4,000点 |
| | 注1 新生児又は3歳未満の乳幼児（新生児を除く。）に対して当該検査を行った場合は、1については10,800点又は3,600点を、2については12,000点又は4,000点を、それぞれ所定点数に加算する。 | |
| | 2 当該検査に当たって、卵円孔又は欠損孔を通しての左心カテーテル検査、経中隔左心カテーテル検査（ブロッケンブロー）、伝導機能検査、ヒス束心電図、診断ペーシング、期外（早期）刺激法による測定・誘発試験又は冠動脈造影を行った場合は、それぞれ800点、2,000点、200点、200点、200点、600点又は1,400点を加算する。 | |
| | 3 血管内超音波検査、血管内光断層撮影又は冠動脈血流予備能測定検査を実施した場合は、所定点数に300点を加算する。 | |
| | 4 厚生労働大臣の定める施設基準を満たす保険医療機関において血管内視鏡検査を実施した場合は所定点数に300点を加算する。 | |
| | 5 同一月中に血管内超音波検査、血管内光断層撮影、冠動脈血流予備能測定検査及び血管内視鏡検査のうち、2以上の検査を行った場合には、主たる検査の点数を算定する。 | |
| | 6 カテーテルの種類、挿入回数によらず一連として算定し、諸監視、血液ガス分析、心拍出量測定、脈圧測定、肺血流量測定、透視、造影剤注入手技、造影剤使用撮影及びエックス線診断の費用は、全て所定点数に含まれるものとする。 | |
| | 7 エックス線撮影に用いられたフィルムの費用は、区分番号E 4 0 0に掲げるフィルムの所定点数により算定する。 | |
| D 2 0 7 | 体液量等測定 | |
| | 1 体液量測定、細胞外液量測定 | 60点 |
| | 2 血流量測定、皮弁血流検査、循環血流量測定（色素希釈法によるもの）、電子授受式発消色性インジケータ使用皮膚表面温度測定、血管伸展性検査 | 100点 |
| | 3 心拍出量測定、循環時間測定、循環血液量測定（色素希釈法以外によるもの）、脳循環測定（色素希釈法によるもの） | 150点 |
| | 注1 心拍出量測定に際してカテーテルを挿入した場合は、開始日に限り1,300点 | |

を加算する。この場合において、挿入に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。

2 カテーテルの交換の有無にかかわらず一連として算定する。

| | | |
|--------|---|--------|
| 4 | 脳循環測定（笑気法によるもの） | 1,350点 |
| D208 | 心電図検査 | |
| 1 | 四肢単極誘導及び胸部誘導を含む最低12誘導 | 130点 |
| 2 | ベクトル心電図、体表ヒス束心電図 | 150点 |
| 3 | 携帯型発作時心電図記憶伝達装置使用心電図検査 | 150点 |
| 4 | バリストカルジオグラフ | 90点 |
| | 注 2方向以上の記録による場合は所定点数に90点を加算する。 | |
| 5 | その他（6誘導以上） | 90点 |
| | 注 当該保険医療機関以外の医療機関で描写した心電図について診断を行った場合は、1回につき70点とする。 | |
| D209 | 負荷心電図検査 | |
| 1 | 四肢単極誘導及び胸部誘導を含む最低12誘導 | 320点 |
| 2 | その他（6誘導以上） | 190点 |
| | 注1 当該保険医療機関以外の医療機関で描写した負荷心電図について診断を行った場合は、1回につき70点とする。 | |
| | 2 区分番号D208に掲げる心電図検査であって、同一の患者につき、負荷心電図検査と同日に行われたものの費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D210 | ホルター型心電図検査 | |
| 1 | 30分又はその端数を増すごとに | 90点 |
| 2 | 8時間を超えた場合 | 1,500点 |
| | 注 解析に係る費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D210-2 | 体表面心電図、心外膜興奮伝播図 | 1,500点 |
| D210-3 | 埋込型心電図検査 | 90点 |
| | 注1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。 | |
| | 2 30分又はその端数を増すごとに算定する。 | |
| | 3 解析に係る費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D211 | トレッドミルによる負荷心肺機能検査、サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査 | 800点 |
| | 注1 負荷の回数又は種類にかかわらず所定点数により算定する。 | |
| | 2 区分番号D200に掲げるスパイログラフィー等検査又は区分番号D208に掲げる心電図検査であって、同一の患者につき当該検査と同日に行われたものの費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| | 3 運動療法における運動処方作成、心・肺疾患の病態や重症度の判定、治療方針の決定又は治療効果の判定を目的として連続呼気ガス分析を行った場合には、連続呼気ガス分析加算として、所定点数に100点を加算する。 | |
| D211-2 | 喘息運動負荷試験 | 800点 |
| | 注 喘息の気道反応性の評価、治療方針の決定等を目的として行った場合に算定する。 | |
| D212 | リアルタイム解析型心電図 | 500点 |
| D212-2 | 携帯型発作時心電図記録計使用心電図検査 | 500点 |
| D213 | 心音図検査 | 150点 |
| D214 | 脈波図、心機図、ポリグラフ検査 | |
| 1 | 2検査 | 80点 |
| 2 | 3又は4検査 | 130点 |
| 3 | 5又は6検査 | 180点 |
| 4 | 7検査以上 | 220点 |

- 注1 数種目を行った場合でも同時に記録を行った最高検査数により算定する。
- 2 脈波図、心機図又はポリグラフ検査の一部として記録した心電図は、検査数に数えない。
- 3 検査の実施ごとに1から4までに掲げる所定点数を算定する。

D 2 1 4 - 2 エレクトロキモグラフ 260点
(超音波検査等)

通則

区分番号D 2 1 5及びD 2 1 6に掲げる超音波検査等について、同一患者につき同一月において同一検査を2回以上実施した場合における2回目以降の当該検査の費用は、所定点数の100分の90に相当する点数により算定する。

D 2 1 5 超音波検査（記録に要する費用を含む。）

- 1 Aモード法 150点
- 2 断層撮影法（心臓超音波検査を除く。）
- イ 胸腹部 530点
- ロ その他（頭頸部、四肢、体表、末梢^{しやう}血管等） 350点
- 3 心臓超音波検査
- イ 経胸壁心エコー法 880点
- ロ Mモード法 500点
- ハ 経食道心エコー法 1,500点
- ニ 胎児心エコー法 1,000点

注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

- 4 ドブラ法（1日につき）
- イ 胎児心音観察、末梢^{しやう}血管血行動態検査 20点
- ロ 脳動脈血流速度連続測定 150点
- ハ 脳動脈血流速度マッピング法 400点
- 5 血管内超音波法 3,600点

注1 2又は3について、造影剤を使用した場合は、所定点数に150点を加算する。
この場合において、造影剤注入手技料及び麻酔料（区分番号L 0 0 8に掲げるマスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔に係るものを除く。）は、加算点数に含まれるものとする。

- 2 2について、パルスドブラ法を行った場合は、所定点数に200点を加算する。
- 3 心臓超音波検査に伴って同時に記録した心電図、心音図、脈波図及び心機図の検査の費用は、所定点数に含まれるものとする。
- 4 ドブラ法について、ロ及びハを併せて行った場合は、主たるものの所定点数のみにより算定する。
- 5 血管内超音波法について、呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ、血液ガス分析、心拍出量測定、脈圧測定、透視、造影剤注入手技、造影剤使用撮影及びエックス線診断の費用は、所定点数に含まれるものとする。
- 6 血管内超音波法と同一月中に行った血管内視鏡検査は所定点数に含まれるものとする。

D 2 1 6 サーモグラフィ検査（記録に要する費用を含む。） 200点

注 負荷検査を行った場合は、負荷の種類又は回数にかかわらず所定点数に100点を加算する。

D 2 1 6 - 2 残尿測定検査

- 1 超音波検査によるもの 55点
- 2 導尿によるもの 45点

注 残尿測定検査は、患者1人につき月2回に限り算定する。

| | | |
|-----------|---|------|
| D 2 1 7 | 骨塩定量検査 | |
| | 1 DEXA法による腰椎 ^{つひ} 撮影 | 360点 |
| | 注 同一日にDEXA法により大腿骨 ^{たい} 撮影を行った場合には、大腿骨同時撮影加算として、所定点数に90点を加算する。 | |
| | 2 MD法、SEXA法等 | 140点 |
| | 3 超音波法 | 80点 |
| | 注 検査の種類にかかわらず、患者1人につき4月に1回に限り算定する。 (監視装置による諸検査) | |
| D 2 1 8 | 分娩 ^{べん} 監視装置による諸検査 | |
| | 1 1時間以内の場合 | 400点 |
| | 2 1時間を超え1時間30分以内の場合 | 550点 |
| | 3 1時間30分を超えた場合 | 700点 |
| D 2 1 9 | ノンストレステスト(一連につき) | 200点 |
| D 2 2 0 | 呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ(ハートスコープ)、カルジオタコスコープ | |
| | 1 1時間以内又は1時間につき | 50点 |
| | 2 3時間を超えた場合(1日につき) | |
| | イ 7日以内の場合 | 150点 |
| | ロ 7日を超え14日以内の場合 | 130点 |
| | ハ 14日を超えた場合 | 50点 |
| | 注1 心電曲線及び心拍数のいずれも観察した場合に算定する。 | |
| | 2 呼吸曲線を同時に観察した場合の費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| | 3 人工呼吸と同時に行った呼吸心拍監視の費用は、人工呼吸の所定点数に含まれるものとする。 | |
| | 4 同一の患者につき、区分番号L008に掲げるマスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔と同日に行われた場合における当該検査の費用は、当該麻酔の費用に含まれる。 | |
| D 2 2 1 | 削除 | |
| D 2 2 2 | 経皮的血液ガス分圧測定、血液ガス連続測定 | |
| | 1 1時間以内又は1時間につき | 100点 |
| | 2 5時間を超えた場合(1日につき) | 600点 |
| D 2 2 3 | 経皮的動脈血酸素飽和度測定(1日につき) | 30点 |
| | 注 人工呼吸と同時に行った経皮的動脈血酸素飽和度測定の費用は、人工呼吸の所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 2 3-2 | 終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定(一連につき) | 100点 |
| D 2 2 4 | 終末呼気炭酸ガス濃度測定(1日につき) | 100点 |
| D 2 2 5 | 観血的動脈圧測定(カテーテルの挿入に要する費用及びエックス線透視の費用を含む。) | |
| | 1 1時間以内の場合 | 130点 |
| | 2 1時間を超えた場合(1日につき) | 260点 |
| | 注 カテーテルの交換の有無にかかわらず一連として算定する。 | |
| D 2 2 5-2 | 非観血的連続血圧測定(1日につき) | 100点 |
| | 注 人工呼吸と同時に行った非観血的連続血圧測定の費用は、人工呼吸の所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 2 5-3 | 24時間自由行動下血圧測定 | 200点 |
| D 2 2 6 | 中心静脈圧測定(1日につき) | |
| | 1 4回以下の場合 | 100点 |
| | 2 5回以上の場合 | 200点 |
| | 注 カテーテルの交換 ^{がい} の有無にかかわらず一連として算定する。 | |
| D 2 2 7 | 頭蓋 ^{がい} 内圧持続測定 | |

| | | |
|-----------|---|--------|
| 1 | 1時間以内又は1時間につき | 100点 |
| 2 | 3時間を超えた場合（1日につき） | 400点 |
| D 2 2 8 | 深部体温計による深部体温測定（1日につき） | 100点 |
| D 2 2 9 | 前額部、胸部、手掌部又は足底部体表面体温測定による末梢循環不全状態観察（1日につき） | 100点 |
| D 2 3 0 | 観血的肺動脈圧測定 | |
| 1 | 1時間以内又は1時間につき | 150点 |
| 2 | 2時間を超えた場合（1日につき） | 450点 |
| 注1 | バルーン付肺動脈カテーテルを挿入した場合は、開始日に限り所定点数に1,300点を加算する。この場合において、挿入に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。 | |
| 2 | カテーテルの交換の有無にかかわらず、一連として算定する。 | |
| D 2 3 1 | 人工臓腑（一連につき） | 5,000点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に算定する。 | |
| D 2 3 1-2 | 皮下連続式グルコース測定（一連につき） | 700点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。 | |
| D 2 3 2 | 食道内圧測定検査 | 650点 |
| D 2 3 3 | 直腸肛門機能検査 | |
| 1 | 1項目行った場合 | 800点 |
| 2 | 2項目以上行った場合 | 1,200点 |
| 注 | 直腸肛門機能検査は、患者1人につき月1回に限り算定する。 | |
| D 2 3 4 | 胃・食道内24時間pH測定（脳波検査等） | 1,000点 |

通則

区分番号D 2 3 5からD 2 3 7-2までに掲げる脳波検査等については、各所定点数及び区分番号D 2 3 8に掲げる脳波検査判断料の所定点数を合算した点数により算定する。

| | | |
|-----------|---|------|
| D 2 3 5 | 脳波検査（過呼吸、光及び音刺激による負荷検査を含む。） | 600点 |
| 注1 | 検査に当たって睡眠賦活検査又は薬物賦活検査を行った場合は、これらの検査の別にかかわらず250点を加算する。 | |
| 2 | 当該保険医療機関以外の医療機関で描写した脳波について診断を行った場合は、1回につき70点とする。 | |
| D 2 3 5-2 | 長期継続頭蓋内脳波検査（1日につき） | 400点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届出をした保険医療機関において、長期継続頭蓋内脳波検査を実施した場合に算定する。 | |
| D 2 3 5-3 | 長期脳波ビデオ同時記録検査（1日につき） | 700点 |
| D 2 3 6 | 脳誘発電位検査（脳波検査を含む。） | |
| 1 | 体性感覚誘発電位 | 670点 |
| 2 | 視覚誘発電位 | 670点 |
| 3 | 聴性誘発反応検査、脳波聴力検査、脳幹反応聴力検査、中間潜時反応聴力検査 | 670点 |
| 注 | 2種類以上行った場合は、主たるもののみ算定する。 | |
| 4 | 聴性定常反応 | 800点 |
| D 2 3 6-2 | 光トポグラフィー | 670点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関以外の保険医療機関において行われる場合には、所定点数の100分の80に相当する点数により算定する。 | |

| | | |
|-------------|--|--------|
| D 2 3 6 - 3 | 神経磁気診断 | 5,000点 |
| | 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。 | |
| D 2 3 7 | 終夜睡眠ポリグラフィ | |
| | 1 携帯用装置を使用した場合 | 720点 |
| | 2 1以外の場合 | 3,300点 |
| D 2 3 7 - 2 | 反復睡眠潜時試験 (MSLT) | 5,000点 |
| D 2 3 8 | 脳波検査判断料 | 140点 |
| | 注 脳波検査等の種類又は回数にかかわらず月1回に限り算定するものとする。 (神経・筋検査) | |

通則

区分番号D 2 3 9からD 2 4 0までに掲げる神経・筋検査については、各所定点数及び区分番号D 2 4 1に掲げる神経・筋検査判断料の所定点数を合算した点数により算定する。

| | | |
|-------------|---|------|
| D 2 3 9 | 筋電図検査 | |
| | 1 筋電図 (1肢につき (針電極にあつては1筋につき)) | 200点 |
| | 2 誘発筋電図 (神経伝導速度測定を含む。)(1神経につき) | 150点 |
| | 3 中枢神経磁気刺激による誘発筋電図 (一連につき) | 400点 |
| | 注1 2について、2神経以上に対して行う場合には、1神経を増すごとに所定点数に150点を加算する。ただし、加算点数は450点を超えないものとする。 | |
| | 2 3について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関以外の保険医療機関において行われる場合には、所定点数の100分の80に相当する点数により算定する。 | |
| D 2 3 9 - 2 | 電流知覚閾値測定 (一連につき) | 200点 |
| D 2 3 9 - 3 | 神経学的検査 | 300点 |
| | 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。 | |
| D 2 4 0 | 神経・筋負荷テスト | |
| | 1 テンシロンテスト (ワグスチグミン眼筋力テストを含む。) | 130点 |
| | 2 瞳孔薬物負荷テスト | 130点 |
| | 3 乏血運動負荷テスト (乳酸測定等を含む。) | 200点 |
| D 2 4 1 | 神経・筋検査判断料 | 140点 |
| | 注 神経・筋検査等の種類又は回数にかかわらず月1回に限り算定するものとする。 | |
| D 2 4 2 | 尿水力学的検査 | |
| | 1 膀胱内圧測定 | 260点 |
| | 2 尿道圧測定図 | 260点 |
| | 3 尿流測定 | 205点 |
| | 4 括約筋筋電図 (耳鼻咽喉科学的検査) | 310点 |
| D 2 4 3 | 削除 | |
| D 2 4 4 | 自覚的聴力検査 | |
| | 1 標準純音聴力検査、自記オーディオメーターによる聴力検査 | 350点 |
| | 2 標準語音聴力検査、ことばのききとり検査 | 350点 |
| | 3 簡易聴力検査 | |
| | イ 気導純音聴力検査 | 110点 |
| | ロ その他 (種目数にかかわらず一連につき) | 40点 |
| | 4 後迷路機能検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 400点 |
| | 5 内耳機能検査 (種目数にかかわらず一連につき)、耳鳴検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 400点 |
| | 6 中耳機能検査 (種目数にかかわらず一連につき) | 150点 |

| | | |
|-------------|--|--------|
| D 2 4 4 - 2 | 補聴器適合検査 | |
| 1 | 1回目 | 1,300点 |
| 2 | 2回目以降 | 700点 |
| | 注 補聴器適合検査は、別に厚生労働大臣の定める施設基準に適合しているものとして、地方厚生局長等に届出をした保険医療機関において、患者1人につき月2回に限り算定する。 | |
| D 2 4 5 | 鼻腔 ^{くう} 通気度検査 | 300点 |
| D 2 4 6 | アコースティックオトスコープを用いた鼓膜音響反射率検査 | 100点 |
| D 2 4 7 | 他覚的聴力検査又は行動観察による聴力検査 | |
| 1 | 鼓膜音響インピーダンス検査 | 300点 |
| 2 | チンパノメトリー | 350点 |
| 3 | 耳小骨筋反射検査 | 450点 |
| 4 | 遊戯聴力検査 | 450点 |
| 5 | 耳音響放射（OAE）検査 | |
| | イ 自発耳音響放射（SOAE） | 100点 |
| | ロ その他の場合 | 300点 |
| D 2 4 8 | 耳管機能測定装置を用いた耳管機能測定 | 450点 |
| D 2 4 9 | 蝸 ^か 電図 | 750点 |
| D 2 5 0 | 平衡機能検査 | |
| 1 | 標準検査（一連につき） | 20点 |
| 2 | 刺激又は負荷を加える特殊検査（1種目につき） | 120点 |
| 3 | 頭位及び頭位変換眼振検査 | 150点 |
| 4 | 電気眼振図（誘導数にかかわらず一連につき） | |
| | イ 皿電極により4誘導以上の記録を行った場合 | 400点 |
| | ロ その他の場合 | 260点 |
| 5 | 重心動揺計、下肢加重検査、フォースプレート分析、動作分析検査 | 250点 |
| | 注 5について、パワー・ベクトル分析を行った場合には200点、刺激又は負荷を加えた場合には1種目につき120点を加算する。 | |
| D 2 5 1 | 音声言語 ^{ごうご} 医学的検査 | |
| 1 | 喉頭 ^{こうとう} ストロボスコーピー | 450点 |
| 2 | 音響分析 | 450点 |
| 3 | 音声機能検査 | 450点 |
| D 2 5 2 | 扁桃 ^{へんたんと} マッサージ法 | 40点 |
| D 2 5 3 | 嗅覚 ^{きゅうかく} 検査 | |
| 1 | 基準嗅覚検査 | 450点 |
| 2 | 静脈性嗅覚検査 | 45点 |
| D 2 5 4 | 電気味覚 ^{でんきみかく} 検査（一連につき） （眼科学的検査） | 300点 |

通則

コンタクトレンズの装用を目的に受診した患者に対して眼科学的検査を行った場合は、D 2 8 2 - 3に掲げるコンタクトレンズ検査料のみ算定する。

| | | |
|-------------|--|------|
| D 2 5 5 | 精密眼底検査（片側） | 56点 |
| D 2 5 5 - 2 | 汎網膜硝子体検査（片側） | 150点 |
| | 注 患者1人につき月1回に限り算定する。ただし、汎網膜硝子体検査と併せて行った、区分番号D 2 5 5に掲げる精密眼底検査（片側）、D 2 5 7に掲げる細隙燈頭微鏡検査（前眼部及び後眼部）又はD 2 7 3に掲げる細隙燈頭微鏡検査（前眼部）に係る費用は所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 5 6 | 眼底カメラ撮影 | |
| 1 | 通常の方法の場合 | 56点 |

| | | |
|-------------|--|------|
| 2 | 蛍光眼底法の場合 | 400点 |
| | 注 使用したフィルムの費用として、購入価格を10円で除して得た点数を加算する。 | |
| D 2 5 6 - 2 | 眼底三次元画像解析 | 200点 |
| | 注 患者1人につき月1回に限り算定する。ただし、眼底三次元画像解析と併せて行った、区分番号D 2 5 6の1に掲げる眼底カメラ撮影の通常の方法の場合に係る費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 5 7 | 細隙燈顕微鏡検査（前眼部及び後眼部） | 112点 |
| | 注 使用したフィルムの費用として、購入価格を10円で除して得た点数を加算する。 | |
| D 2 5 8 | 網膜電位図（E R G） | 230点 |
| D 2 5 8 - 2 | 網膜機能精密電気生理検査（多局所網膜電位図） | 500点 |
| D 2 5 9 | 精密視野検査（片側） | 38点 |
| D 2 6 0 | 量的視野検査（片側） | |
| | 1 動的量的視野検査 | 195点 |
| | 2 静的量的視野検査 | 300点 |
| D 2 6 1 | 屈折検査 | 69点 |
| D 2 6 2 | 調節検査 | 74点 |
| D 2 6 3 | 矯正視力検査 | |
| | 1 眼鏡処方せんの交付を行う場合 | 69点 |
| | 2 1以外の場合 | 69点 |
| D 2 6 4 | 精密眼圧測定 | 82点 |
| | 注 水分の多量摂取、薬剤の注射、点眼、暗室試験等の負荷により測定を行った場合は、55点を加算する。 | |
| D 2 6 5 | 角膜曲率半径計測 | 84点 |
| D 2 6 5 - 2 | 角膜形状解析検査 | 110点 |
| | 注 角膜形状解析検査は、患者1人につき月1回に限り算定する。ただし、当該検査と同一月内に行った区分番号D 2 6 5に掲げる角膜曲率半径計測は所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 6 6 | 光覚検査 | 42点 |
| D 2 6 7 | 色覚検査 | |
| | 1 アノマロスコープ又は色相配列検査を行った場合 | 60点 |
| | 2 1以外の場合 | 38点 |
| D 2 6 8 | 眼筋機能精密検査及び輻輳検査 | 38点 |
| D 2 6 9 | 眼球突出度測定 | 38点 |
| D 2 6 9 - 2 | 光学的眼軸長測定 | 150点 |
| D 2 7 0 | 削除 | |
| D 2 7 1 | 角膜知覚計検査 | 38点 |
| D 2 7 2 | 両眼視機能精密検査、立体視検査（三杆法又はステレオテスト法による）、網膜対応検査（残像法又はバゴリニ線條試験による） | 38点 |
| D 2 7 3 | 細隙燈顕微鏡検査（前眼部） | 48点 |
| | 注 使用したフィルムの費用として、購入価格を10円で除して得た点数を加算する。 | |
| D 2 7 4 | 前房隅角検査 | 38点 |
| D 2 7 5 | 圧迫隅角検査 | 76点 |
| D 2 7 6 | 網膜中心血管圧測定 | |
| | 1 簡単なもの | 42点 |
| | 2 複雑なもの | 100点 |
| D 2 7 7 | 涙液分泌機能検査、涙管通水・通色素検査 | 38点 |
| D 2 7 8 | 眼球電位図（E O G） | 260点 |
| D 2 7 9 | 角膜内皮細胞顕微鏡検査 | 160点 |
| D 2 8 0 | レーザー前房蛋白質細胞数検査 | 160点 |

| | | |
|-----------|--|------|
| D 2 8 1 | 瞳孔機能検査（電子瞳孔計使用） | 160点 |
| D 2 8 2 | 中心フリッカー試験 | 38点 |
| D 2 8 2-2 | PL（Preferential Looking）法 | 100点 |
| D 2 8 2-3 | コンタクトレンズ検査料 | |
| | 1 コンタクトレンズ検査料 1 | 200点 |
| | 2 コンタクトレンズ検査料 2 | 56点 |
| | 注 1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、コンタクトレンズの装用を目的に受診した患者に対して眼科学的検査を行った場合は、コンタクトレンズ検査料 1 を算定し、当該保険医療機関以外の保険医療機関であって、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものにおいて、コンタクトレンズの装用を目的に受診した患者に対して眼科学的検査を行った場合は、コンタクトレンズ検査料 2 を算定する。 | |
| | 2 注 1 により当該検査料を算定する場合は、区分番号 A 0 0 0 に掲げる初診料の注 6 及び区分番号 A 0 0 1 に掲げる再診料の注 5 に規定する夜間・早朝等加算は算定できない。 | |
| | 3 当該保険医療機関又は当該保険医療機関と特別の関係にある保険医療機関において過去にコンタクトレンズの装用を目的に受診したことがある患者について、当該検査料を算定した場合は、区分番号 A 0 0 0 に掲げる初診料は算定せず、区分番号 A 0 0 1 に掲げる再診料又は区分番号 A 0 0 2 に掲げる外来診療料を算定する。 | |
| | （皮膚科学的検査） | |
| D 2 8 2-4 | ダーモスコピー | 72点 |
| | （臨床心理・神経心理検査） | |
| D 2 8 3 | 発達及び知能検査 | |
| | 1 操作が容易なもの | 80点 |
| | 2 操作が複雑なもの | 280点 |
| | 注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの 1 種類のみ在所定点数により算定する。 | |
| D 2 8 4 | 人格検査 | |
| | 1 操作が容易なもの | 80点 |
| | 2 操作が複雑なもの | 280点 |
| | 3 操作と処理が極めて複雑なもの | 450点 |
| | 注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの 1 種類のみ在所定点数により算定する。 | |
| D 2 8 5 | 認知機能検査その他の心理検査 | |
| | 1 操作が容易なもの | 80点 |
| | 2 操作が複雑なもの | 280点 |
| | 3 操作と処理が極めて複雑なもの | 450点 |
| | 注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの 1 種類のみ在所定点数により算定する。 | |
| | （負荷試験等） | |
| D 2 8 6 | 肝及び腎 <small>じん</small> のクリアランステスト | 150点 |
| | 注 1 検査に当たって、尿管カテーテル法、膀胱尿道ファイバースコーピー又は膀胱尿道鏡検査を行った場合は、区分番号 D 3 1 8 に掲げる尿管カテーテル法、D 3 1 7 に掲げる膀胱尿道ファイバースコーピー又は D 3 1 7-2 に掲げる膀胱尿道鏡検査の所定点数を併せて算定する。 | |
| | 2 検査に伴って行った注射、採血及び検体測定のコストは、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 2 8 7 | 内分泌負荷試験 | |

| | | |
|--------|---|--------|
| 1 | 下垂体前葉負荷試験 | |
| イ | 成長ホルモン（GH）（一連として） | 1,200点 |
| | 注 患者1人につき月2回に限り算定する。 | |
| ロ | ゴナドトロピン（LH及びFSH）（一連として月1回） | 1,600点 |
| ハ | 甲状腺刺激ホルモン（TSH）（一連として月1回） | 1,200点 |
| ニ | プロラクチン（PRL）（一連として月1回） | 1,200点 |
| ホ | 副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）（一連として月1回） | 1,200点 |
| 2 | 下垂体後葉負荷試験（一連として月1回） | 1,200点 |
| 3 | 甲状腺負荷試験（一連として月1回） | 1,200点 |
| 4 | 副甲状腺負荷試験（一連として月1回） | 1,200点 |
| 5 | 副腎皮質負荷試験 | |
| イ | 鉱質コルチコイド（一連として月1回） | 1,200点 |
| ロ | 糖質コルチコイド（一連として月1回） | 1,200点 |
| 6 | 性腺負荷試験（一連として月1回） | 1,200点 |
| 注1 | 1月に3,600点を限度として算定する。 | |
| | 2 負荷試験に伴って行った注射、採血及び検体測定のコストは、採血回数及び測定回数にかかわらず、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D288 | 糖負荷試験 | |
| 1 | 常用負荷試験（血糖及び尿糖検査を含む。） | 200点 |
| 2 | 耐糖能精密検査（常用負荷試験及び血中インスリン測定又は常用負荷試験及び血中C-ペプチド測定を行った場合）、グルカゴン負荷試験 | 900点 |
| 注 | 注射、採血及び検体測定のコストは、採血回数及び測定回数にかかわらず所定点数に含まれるものとする。 | |
| D289 | その他の機能テスト | |
| 1 | 脾機能テスト（PFDテスト） | 100点 |
| 2 | 肝機能テスト（ICG1回又は2回法、BSP2回法）、ビリルビン負荷試験、馬尿酸合成試験、フィッシュバーグ、水利尿試験、アジスカウント（Addis尿沈渣定量検査）、モーゼンタール法、キシローゼ試験、ヨードカリ試験 | 100点 |
| 3 | 胆道機能テスト、胃液分泌刺激テスト | 700点 |
| 4 | セクレチン試験 | 3,000点 |
| 注 | 検査に伴って行った注射、検体採取、検体測定及びエックス線透視のコストは、すべて所定点数に含まれるものとする。 | |
| D290 | 卵管通気・通水・通色素検査、ルビンテスト | 100点 |
| D290-2 | 尿失禁定量テスト（パッドテスト） | 100点 |
| D291 | 皮内反応検査、ヒナルゴンテスト、鼻アレルギー誘発試験、過敏性転嫁検査、薬物光線貼布試験、最小紅斑量（MED）測定 | |
| 1 | 21箇所以内の場合（1箇所につき） | 16点 |
| 2 | 22箇所以上の場合（一連につき） | 350点 |
| D291-2 | 小児食物アレルギー負荷検査 | 1,000点 |
| 注1 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、9歳未満の患者に対して食物アレルギー負荷検査を行った場合に、年2回に限り算定する。 | |
| 2 | 小児食物アレルギー負荷検査に係る投薬、注射及び処置のコストは、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D291-3 | 内服・点滴誘発試験 | 1,000点 |
| 注 | 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に、年2回に限り算定する。 （ラジオアイソトープを用いた諸検査） | |

通則

区分番号D 2 9 2及びD 2 9 3に掲げるラジオアイソトープを用いた諸検査については、各区分の所定点数及びD 2 9 4に掲げるラジオアイソトープ検査判断料の所定点数を合算した点数により算定する。

D 2 9 2 体外からの計測によらない諸検査

- | | | |
|---|----------------|--------|
| 1 | 循環血液量測定、血漿量測定 | 480点 |
| 2 | 血球量測定 | 800点 |
| 3 | 吸収機能検査、赤血球寿命測定 | 1,550点 |
| 4 | 造血機能検査、血小板寿命測定 | 2,600点 |

注1 同一のラジオアイソトープを用いて区分番号D 2 9 2若しくはD 2 9 3に掲げる検査又は区分番号E 1 0 0からE 1 0 1-3までに掲げる核医学診断のうちいずれか2以上を行った場合の検査料又は核医学診断料は、主たる検査又は核医学診断に係るいずれかの所定点数のみにより算定する。

2 検査に数日を要した場合であっても同一のラジオアイソトープを用いた検査は、一連として1回の算定とする。

3 核種が異なる場合であっても同一の検査とみなすものとする。

D 2 9 3 シンチグラム（画像を伴わないもの）

- | | | |
|---|------------------------|--------|
| 1 | 甲状腺ラジオアイソトープ摂取率（一連につき） | 365点 |
| 2 | レノグラム、肝血流量（ヘパトグラム） | 575点 |
| 3 | 心機能検査（心拍出量測定を含む。） | 990点 |
| 4 | 肺局所機能検査、脳局所血流検査 | 1,820点 |

注 核種が異なる場合であっても同一の検査とみなすものとする。

D 2 9 4 ラジオアイソトープ検査判断料

110点

注 ラジオアイソトープを用いた諸検査の種類又は回数にかかわらず月1回に限り算定するものとする。

（内視鏡検査）

通則

- 超音波内視鏡検査を実施した場合は、所定点数に300点を加算する。
- 区分番号D 2 9 5からD 3 2 3まで及びD 3 2 5に掲げる内視鏡検査について、同一の患者につき同一月において同一検査を2回以上実施した場合における2回目以降の当該検査の費用は、所定点数の100分の90に相当する点数により算定する。
- 当該保険医療機関以外の医療機関で撮影した内視鏡写真について診断を行った場合は、1回につき70点とする。
- 写真診断を行った場合は、使用したフィルムの費用として、購入価格を10円で除して得た点数を加算する。

D 2 9 5 関節鏡検査（片側） 600点

D 2 9 6 喉頭直達鏡検査 190点

D 2 9 6-2 鼻咽腔直達鏡検査 220点

D 2 9 7 削除

D 2 9 8 嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部ファイバースコープ（部位を問わず一連につき） 600点

D 2 9 8-2 内視鏡下嚥下機能検査 600点

D 2 9 9 喉頭ファイバースコープ 600点

D 3 0 0 中耳ファイバースコープ 240点

D 3 0 0-2 顎関節鏡検査（片側） 1,000点

D 3 0 1 気管支鏡検査、気管支カメラ 500点

D 3 0 2 気管支ファイバースコープ 2,500点

注 気管支肺胞洗浄法検査を同時に行った場合は、200点を加算する。

D 3 0 3 胸腔鏡検査 6,000点

D 3 0 4 縦隔鏡検査 7,000点

D 3 0 5 食道鏡検査、食道カメラ 400点

| | | |
|-------------|---|--------|
| D 3 0 6 | 食道ファイバースコープ | 800点 |
| | 注1 粘膜点墨法を行った場合は、60点を加算する。 | |
| | 2 拡大内視鏡を用いて、狭帯域光による観察を行った場合には、狭帯域光強調加算として、所定点数に200点を加算する。 | |
| D 3 0 7 | 胃鏡検査、ガストロカメラ | 500点 |
| D 3 0 8 | 胃・十二指腸ファイバースコープ | 1,140点 |
| | 注1 胆管・膵管造影法を行った場合は、600点を加算する。ただし、諸監視、造影剤注入手技及びエックス線診断の費用（フィルムの費用は除く。）は所定点数に含まれるものとする。 | |
| | 2 粘膜点墨法を行った場合は、60点を加算する。 | |
| | 3 胆管・膵管鏡を用いて行った場合は、600点を加算する。 | |
| | 4 拡大内視鏡を用いて、狭帯域光による観察を行った場合には、狭帯域光強調加算として、所定点数に200点を加算する。 | |
| D 3 0 9 | 胆道ファイバースコープ | 1,400点 |
| D 3 1 0 | 小腸ファイバースコープ | |
| | 1 ダブルバルーン内視鏡によるもの | 3,000点 |
| | 2 カプセル型内視鏡によるもの | 1,700点 |
| | 3 その他のもの | 1,700点 |
| | 注1 2種類以上行った場合は、主たるもののみ算定する。 | |
| | 2 3について、粘膜点墨法を行った場合は、60点を加算する。 | |
| D 3 1 1 | 直腸鏡検査 | 300点 |
| D 3 1 1 - 2 | 肛門鏡検査 | 200点 |
| D 3 1 2 | 直腸ファイバースコープ | 550点 |
| | 注 粘膜点墨法を行った場合は、60点を加算する。 | |
| D 3 1 3 | 大腸ファイバースコープ | |
| | 1 S状結腸 | 900点 |
| | 2 下行結腸及び横行結腸 | 1,350点 |
| | 3 上行結腸及び盲腸 | 1,550点 |
| | 注1 粘膜点墨法を行った場合は、60点を加算する。 | |
| | 2 拡大内視鏡を用いて、狭帯域光による観察を行った場合には、狭帯域光強調加算として、所定点数に200点を加算する。 | |
| D 3 1 4 | 腹腔鏡検査 | 1,800点 |
| D 3 1 5 | 腹腔ファイバースコープ | 1,800点 |
| D 3 1 6 | クルドスコープ | 400点 |
| D 3 1 7 | 膀胱尿道ファイバースコープ | 950点 |
| D 3 1 7 - 2 | 膀胱尿道鏡検査 | 890点 |
| D 3 1 8 | 尿管カテーテル法（ファイバースコープによるもの）（両側） | 1,000点 |
| | 注 膀胱尿道ファイバースコープ又は膀胱尿道鏡検査の費用は、所定点数に含まれるものとする。 | |
| D 3 1 9 | 腎盂尿管ファイバースコープ（片側） | 1,500点 |
| D 3 2 0 | ヒステロスコピー | 220点 |
| D 3 2 1 | コルポスコピー | 150点 |
| D 3 2 2 | 子宮ファイバースコープ | 800点 |
| D 3 2 3 | 乳管鏡検査 | 800点 |
| D 3 2 4 | 血管内視鏡検査 | 1,700点 |
| | 注1 血管内視鏡検査は、患者1人につき月1回に限り算定する。 | |
| | 2 呼吸心拍監視、血液ガス分析、心拍出量測定、脈圧測定、造影剤注入手技及びエックス線診断の費用（フィルムの費用は除く。）は、所定点数に含まれるものとする。 | |

- D 3 2 5 肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、^{すい}膵臓カテーテル法 3,600点
- 注1 新生児又は3歳未満の乳幼児（新生児を除く。）に対して当該検査を行った場合は、それぞれ所定点数に10,800点又は3,600点を加算する。
- 2 カテーテルの種類、挿入回数によらず一連として算定し、諸監視、血液ガス分析、心拍出量測定、脈圧測定、肺血流量測定、透視、造影剤注入手技、造影剤使用撮影及びエックス線診断の費用は、全て所定点数に含まれるものとする。
- 3 エックス線撮影に用いられたフィルムの費用は、区分番号E 4 0 0に掲げるフィルムの所定点数により算定する。
- 第4節 診断穿刺・検体採取料

通則

- 1 手術に当たって診断^{せん}穿刺又は検体採取を行った場合は算定しない。
- 2 処置の部と共通の項目は、同一日に算定できない。

区分

- D 4 0 0 血液採取（1日につき）
- 1 静脈 13点
- 2 その他 6点
- 注1 入院中の患者以外の患者についてのみ算定する。
- 2 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、14点を加算する。
- 3 血液回路から採血した場合は算定しない。
- D 4 0 1 脳室^{せん}穿刺 500点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 2 後頭下^{せん}穿刺 300点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 3 腰椎^{ついでん}穿刺、胸椎^{ついでん}穿刺、頸椎^{けいいでん}穿刺（脳脊髄圧測定を含む。） 150点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 4 骨髓^{せん}穿刺
- 1 胸骨 260点
- 2 その他 280点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 4-2 骨髓生^{せん}検 730点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合には、所定点数に100点を加算する。
- D 4 0 5 関節^{せん}穿刺（片側） 100点
- 注 3歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 6 上顎洞^{がく}穿刺（片側） 60点
- D 4 0 6-2 扁桃^{のうよう}周囲炎又は扁桃^{せん}周囲膿瘍における試験^{せん}穿刺（片側） 180点
- D 4 0 7 腎嚢胞^{じんのう}又は水腎症^{じん}穿刺 240点
- 注 6歳未満の乳幼児の場合は、100点を加算する。
- D 4 0 8 ダグラス^か窩^{せん}穿刺 240点
- D 4 0 9 リンパ節^{せん}等^{せん}穿刺又は針生^{せん}検 200点
- D 4 0 9-2 センチネルリンパ節^{せん}生^{せん}検
- 1 併用法 5,000点
- 2 単独法 3,000点
- 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、乳がんの患者に対して、1については放射性同位元素及び色素を用いて行った場合に、2については色素のみを用いて行った場合に、それぞれ算定する。ただし、当該検査に用いた色素の費用は、算定しない。
- D 4 1 0 乳腺^{せん}穿刺^{せん}又は針生^{せん}検（片側） 200点
- D 4 1 1 甲状腺^{せん}穿刺^{せん}又は針生^{せん}検 150点
- D 4 1 2 経皮的針生^{せん}検法（透視、心電図検査及び超音波検査を含む。） 1,600点

| | | |
|-------------|---|--------|
| D 4 1 3 | 前立腺 ^{せん} 針生検法 | 1,400点 |
| D 4 1 4 | 内視鏡下生検法（1 臓器につき） | 310点 |
| D 4 1 4 - 2 | 超音波内視鏡下 ^{せん} 穿刺吸引生検法（EUS - FNA） | 4,000点 |
| D 4 1 5 | 経気管肺生検法 | 4,000点 |
| D 4 1 6 | 臓器 ^{せん} 穿刺、組織採取 | |
| | 1 開胸によるもの | 9,070点 |
| | 2 開腹によるもの（腎 ^{じん} を含む。） | 5,550点 |
| | 注 6歳未満の乳幼児の場合は、2,000点を加算する。 | |
| D 4 1 7 | 組織試験採取、切採法 | |
| | 1 皮膚、筋肉（皮下、筋膜、腱 ^{けん} 及び腱鞘 ^{けんしやう} を含み、心筋を除く。） | 500点 |
| | 2 骨、骨盤 ^{せきつゐ} 、脊椎 | 2,300点 |
| | 3 眼 | |
| | イ 後眼部 | 650点 |
| | ロ その他（前眼部を含む。） | 350点 |
| | 4 耳 | 400点 |
| | 5 鼻 ^{くう} 、副鼻腔 | 400点 |
| | 6 口腔 ^{くう} | 400点 |
| | 7 咽頭 ^{いん} 、喉頭 ^{こう} | 650点 |
| | 8 甲状腺 | 650点 |
| | 9 乳腺 ^{せん} | 650点 |
| | 10 直腸 | 650点 |
| | 11 精巢 ^{こう} （睾丸）、精巢上体 ^{こう} （副睾丸） | 400点 |
| | 12 末梢 ^{しやう} 神経 | 620点 |
| | 13 心筋 | 5,000点 |
| | 注 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、100点を加算する。 | |
| D 4 1 8 | 子宮腔部等 ^{ちつ} からの検体採取 | |
| | 1 子宮頸管粘液採取 | 40点 |
| | 2 子宮腔部組織採取 | 200点 |
| | 3 子宮内膜組織採取 | 370点 |
| D 4 1 9 | その他の検体採取 | |
| | 1 胃液・十二指腸液採取（一連につき） | 180点 |
| | 2 胸水・腹水採取（簡単な液検査を含む。） | 180点 |
| | 3 動脈血採取（1日につき） | 50点 |
| | 注 血液回路から採血した場合は算定しない。 | |
| | 4 前房水採取 | 350点 |

第5節 薬剤料

区分

| | | |
|---------|----|---|
| D 5 0 0 | 薬剤 | 薬価が15円を超える場合は、薬価から15円を控除した額を10円で除して得た点数につき1点未満の端数を切り上げて得た点数に1点を加算して得た点数とする。 |
| | 注1 | 薬価が15円以下である場合は、算定しない。 |
| | 2 | 使用薬剤の薬価は、別に厚生労働大臣が定める。 |

第6節 特定保険医療材料料

区分

| | | |
|---------|----------|----------------------------------|
| D 6 0 0 | 特定保険医療材料 | 材料価格を10円で除して得た点数 |
| | 注 | 使用した特定保険医療材料の材料価格は、別に厚生労働大臣が定める。 |